

E102		人間学 - 10	
英名科目名	Human Beings and the Meaning of Existence		
大学名	大谷大学		
連絡先	教務課 TEL 075-411-8117 FAX 075-411-8150		
担当教員	井上 尚実		
開講期間	2021年04月06日(火)～2021年07月27日(火) 4講時 14時40分～16時10分(毎週火曜日) 休講 2021/05/04(火) 2021/07/27(火)は、試験日の為、京カレッジ生は出席不要です。		
開講形態	前期・春学期	開講曜日・講時	
単位数	2	履修年次	2-4学年
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	120		
単位互換生定員	10	京カレッジ生定員	10
試験・評価方法	平常点 30% 出席および受講態度の総合評価。 レポート 70% 講義を受講し参考文献を読んだ上で、各自がテーマを決め、2000字以上のレポートにまとめて提出する。 参考文献を積極的に読んで、授業テーマについて考えを深めて欲しい。		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	聴講料 15,000円		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	<p>【質問・相談の方法】 授業後に直接質問・相談すること。またはオフィスアワーを訪問すること</p> <p>【担当者からの連絡】 上記第1回～4回の学習内容については、大谷大学のレポジトリから授業資料の「信の仏教の系譜」を各自ダウンロードして読み進めてください。質問があればメールで tinoue@res.otani.ac.jp まで。 https://otani.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=900&item_no=1&page_id=13&block_id=28 他の論文等の資料も、 Moodle にコピーをアップロードしてあるので、授業の前に目を通して頂くこと。</p> <p>広い視野から浄土真宗の祖型を尋ねる授業です。初期仏教のテキストに思想的原型を探り、ガンダーラから中国北朝の仏教美術の歴史遺産に具体的な思想の展開を尋ねます。</p> <p>本学では、対面授業を想定して開講いたしますが、今後の新型コロナウイルス感染状況次第では、実施方法やスケジュールに変更があることをご了解ください。変更等については、e京都(いーこと)ラーニングシステムを通じて掲示・連絡いたします。</p>		
パッケージ科目			
低回数受講推奨科目			
講義概要・到達目標	<p>【授業テーマ】 浄土真宗の源流を尋ねて</p> <p>【授業概要】 「大乘の至極」といわれる浄土真宗の源流について、釈尊在世時のインドから大乘仏教興隆期のガンダーラ、中国浄土教三祖(曇鸞・道綽・善導)の時代まで、仏教文献と美術資料に基づいて尋ねる</p> <p>【学習到達目標】 浄土真宗の教えが釈尊の仏教と通底し、大乘仏教の到達点であると</p>		

いうことについて、具体的な文献や歴史遺産に基づいて論じることができる。

講義スケジュール

【学習内容】

1. 序説 浄土真宗の源流を学ぶ方法
2. 「信」の仏教の原風景(1)
3. 「信」の仏教の原風景(2)
4. 「信」の仏教の原風景(3)
5. 「ただ念仏」の原型(1)
6. 「ただ念仏」の原型(2)
7. 「ただ念仏」の原型(3)
8. 廻向の思想と阿弥陀仏(1)
9. 廻向の思想と阿弥陀仏(2)
10. ガンダーラの浄土思想:モハメド・ナリの浮き彫りについて(1)
11. ガンダーラの浄土思想:モハメド・ナリの浮き彫りについて(2)
12. 南響堂山石窟の浄土変相浮き彫り:観ることから称えることへ(1)
13. 南響堂山石窟の浄土変相浮き彫り:観ることから称えることへ(2)
14. 南響堂山石窟の浄土変相浮き彫り:観ることから称えることへ(3)
15. まとめ

【授業方法】

- 第1回:講義
第2～15回:講義・ディスカッション

【準備学習(予習・復習)・時間】

- 第1回:浄土真宗の基本的な教えについて、調べておくこと。30分
第2～4回:井上尚実「信の仏教の系譜-『スッタニパータ』『アラーヴァカ経』と『ヴァンギーサ経』に描かれる「信」の原風景」に目を通す。90分
第5～7回:井上尚実「「ただ念仏」の原型-『スッタニパータ』『彼岸道品』に謳われる念仏と信心-」に目を通す。90分
第8回:梶山雄一「解説-仏教思想史における親鸞」『大乘仏典 中国日本篇22 親鸞』pp. 384-422を読む。90分
第9回:梶山雄一「初期大乘仏教と親鸞」(『浄土の思想』第13章)を読む。90分
第10・11回:荒牧典俊『ブツダのこぼれから浄土真宗へ』(自照社2008)、137～173頁を読む。90分
第12～14回:井上尚実「北齊の禪と浄土:南響堂山第二窟にみる一行三昧の二つの解釈」に目を通す。90分
第15回:講義を通じて参照した論文等を通読して要点をノートにまとめる。90分

教科書

- ・井上尚実「信の仏教の系譜-『スッタニパータ』『アラーヴァカ経』と『ヴァンギーサ経』に描かれる「信」の原風景」『大谷学報』89-2, pp. 1-45. 大谷大学大谷学会 2010年(大谷大学の学術情報レポジトリからPDFを無料ダウンロード可能。 <https://otani.repo.nii.ac.jp>)
- ・井上尚実「「ただ念仏」の原型-『スッタニパータ』『彼岸道品』に謳われる念仏と信心」『親鸞教学』91号, pp. 15-36. 大谷大学真宗学会 2008年(インターネット上で無料ダウンロード可能。)
- ・井上尚実「北齊禪と浄土:南響堂山第二窟所見一行三昧の二種解釈(北齊の禪と浄土:南響堂山第二窟にみる一行三昧の二つの解釈)」『佛学研究』2019年 第1期, pp. 170-182. 中国佛教文化研究所 2019年(原文(日本語)のコピーを配布。)
- ・下田正弘「浄土思想の理解に向けて」(抄)『シリーズ大乘仏教 5 仏と浄土 大乘仏典II』(春秋社 2013年)の第1章のうちGovindnagar出土の阿弥陀仏立像台座銘文の解釈を含む(一)浄土信仰教団存在想定の問題 pp.22-26と(八)ふたたびゴヴィンドナガルの事例へ pp. 43-45. 春秋社 2013年(Moodleにコピーをアップロード)
- ・濱田瑞美『中国石窟美術の研究』(中央公論美術出版、2012年)の序論「仏影思慕と中国石窟」中央公論美術出版 2012年(Moodleにコピーをアップロード)

レジュメのプリントを配布し、ネット上で閲覧できる論文PDFを参照する。

参考書	<ul style="list-style-type: none">・藤田宏達『原始浄土思想の研究』岩波書店 1970年・藤田宏達『浄土三部経の研究』岩波書店 2007年・山口益『大乘としての浄土 空・唯識から念仏へ』大法輪閣 2006年・梶山雄一 梶山雄一著作集第6巻『浄土の思想』 春秋社 2013年・濱田瑞美『アジア仏教美術論集 東アジア I 後漢・三国・南北朝』中央公論美術出版 2017年 <p>『真宗聖典』を参照する。</p>
-----	---